

## 自主調査研究報告 [完了報告]

ロシア極東 3 地域との技術交流に関する 調査研究(他 2 B-1-①)	大分類	他 2 B
	中分類	他 2 B-1

## 1. 目 的

当センターは、平成 15～22 年度にかけて会員有志からなる「北東アジアネットワーク研究会」を組織し、主として会員企業の海外進出を支援することを狙いとして北東アジア地域の建設分野に関する情報収集を行うとともに、人的ネットワークを形成してきた。その結果、数社の道内企業がロシア・サハリン州において合弁企業を設立し、建設事業展開を図る成果を得た。その後も、引き続き様々な観点から日ロのビジネス交流を模索する取組が求められていることから、これまで蓄積してきた知見や人的ネットワーク等を踏まえ、北海道の建設企業が有する寒冷地技術を生かす観点からロシア極東のサハリン州、沿海州、ハバロフスク州の 3 地域に着目し、技術交流を深める中でビジネスチャンス拡大する方策について調査研究を実施するものである。

なお、当センターは、北海道がロシア極東 3 地域と締結した「北海道・ロシア連邦極東地域との経済協力発展プログラム」を推進する「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流推進委員会」のメンバーとなっていることから、本調査研究の情報収集の場として、また人脈形成の場としてこの交流推進委員会等を活用する観点から、これらの事務を本研究に取り込んで実施する。

## 2. 実施内容

平成 28 年度は、「北海道・ロシア連邦極東地

域経済交流推進委員会」における「貢献と参入」プロジェクトの自然環境の保全チームに参加するなど各種会議への参加を通じて、国内およびロシア極東地域に関する情報収集を行った。また、北海道港湾の利用促進を目的に北極海航路に関する情報収集および情報発信も行った。

## 3. 主要な結論

### 3.1 各種会議への参加

各種会議に参加し積極的な意見交換を行うことで人的ネットワークの形成を図った。

### 3.2 北極海航路に関する情報収集

日中韓 3 カ国による北極海航路関係国際会議(NARAC)の日本側の事務局として積極的に参加し、韓国・中国の北極海航路利用の考え方について直接意見交換し、情報収集を行った。また、ロシア語 web サイト等からの北極海航路に関する情報を収集し、国内関係者への情報提供を行った。

## 4. 今後の対応

5 年にわたる本研究の成果について、調査研究レポートとして取りまとめる予定である。

また、今後も道庁主催の「北海道・ロシア連邦極東地域経済交流推進委員会」等の各種会議には継続して参加し、情報収集とプロジェクトの発掘に努める。